

Kirari

今回は、東京で漫画家として活躍され、Uターンにて故郷である池田町に戻り、現在は大学で講義を行うかたわら、漫画も制作されている渡辺浩行さんにお聞きしました。



●漫画家になるきっかけは？

高校生の時投稿した漫画が集英社の編集者の目にとめて頂き、2年後に週刊少年ジャンプの新人漫画賞の手塚賞を受賞することができました。その後、村上もとか先生（「仁」など執筆作品多数）のアシスタントを経てジャンプでデビューすることができ、独立して連載させてもらうことができました。



数々の漫画作品を執筆



執筆中の渡辺さん

●現在までの漫画作品は？

当時は集英社から何冊かコミックスを出してもらいましたが、現在は大垣市の広報誌に毎年市政を紹介する漫画を描かせて頂いてます。他にも同市の史跡である大塚古墳のイラストや松尾芭蕉ほか賢人の漫画、本巣市の舟来山古墳のイラスト、輪之内町のキャラクターデザイン及びキャラ展開のお手伝い、安城市の新美南吉や都築弥厚の漫画など子ども達に地域の歴史を知ってもらうための作品やイラストなどを描かせて頂いてます。

●池田町の魅力の情報発信方法は？

私は実際に他の自治体と組んで漫画制作をしています。漫画を使って町おこしをしている例を他で見ているとそういった方法もありかな？と思います。池田町にしかない資源を掘り起こしてそれを漫画やアニメーションで発信することは国内のみならず海外の人にもアピールしやすいのではないかと思います。

●これからの活動は？

今後は現在勤めている大学の学生など人的パワーを生かして全国的に漫画やアニメーション、デジタル紙芝居などの制作による地域活性化及び女性の雇用創出に寄与できればと考えております。



大垣女子短期大学での授業風景

編集後記

新しい年を迎え、昨年末には衆議院選挙が行われ地域経済の再生が期待されています。

本町におきましては本年、池田・大野共同給食センター建設など大きな事業が予定されています。

町長の新年のあいさつの中にも掲げておられる、「安心」「便利」「元気」なまちづくりを議会としても、行政と共に取り組み、「住んでよかった」まちづくりを遂行していきたいと思います。

今後とも、行政のチェック機関としての使命をはたし、町民の皆様にかかれた議会改革を更に進めてまいります。
(議会広報編集委員 渡辺幸二)

池田町議会は「政務活動費」はありません。